

令和8年8月千葉豪雨等への対応

令和8年9月11日
内閣府(防災担当)とりまとめ

- 令和8年8月千葉豪雨では、住宅の浸水、帰宅困難者の発生や、多数の車両の水没など、住民生活に大きな影響が出ている。大雨特別警報発表時の運転に係る緊急の情報発信や予防的な通行規制などのほか、被災者の生活となりわいの再建、被災地の復旧のために緊急に講ずべき施策について、被災自治体と連携して速やかに対応していく。
- また、内水氾濫により顕在化した課題への対応策を議論するための検討会を開催する。

1. 緊急の支援策

(1) 生活の再建

● 避難生活環境の整備・住まいの確保

- ・ ホテル・旅館等への避難を支援
- ・ ボランティアの活動環境整備
- ・ 罹災証明書の早期交付のための人的支援等
- ・ 応急仮設住宅の供与、住宅の応急修理への支援
- ・ 浸水マンションの電源等復旧への支援
- ・ 被災者生活再建支援金等の迅速な支給
- ・ 災害廃棄物処理への支援 等

● 切れ目のない被災者支援等

- ・ 災害ケースマネジメントの推進
- ・ 迅速な保険金支払い、保険料の払込猶予、既往債務の返済猶予等の柔軟な対応の要請
- ・ 自然災害債務整理ガイドラインによる被災者の債務整理の支援
- ・ 雇用保険の基本手当の特別措置 等

- ・ 地方公共団体における様々な財政需要を的確に把握し、適切に地方財政措置を講じる

(2) なりわいの再建

● 農林漁業者の支援

- ・ 共済金の早期支払いや災害関連資金の金利負担軽減等

● 被災中小企業・小規模事業者への支援

- ・ 災害復旧貸付、セーフティネット保証4号の適用等

(3) 災害復旧等

● 交通の確保

- ・ 被災車両の撤去への支援
- ・ 被災鉄道の復旧に向けた技術的支援
- ・ 被災地における交通の円滑化 等

● 迅速な災害復旧

- ・ 公共土木施設、農地・農業用施設等の迅速な復旧
－ 激甚災害（本激）指定による国庫補助率かさ上げ（農地等）
- ・ 災害査定の効率化
- ・ 医療機関、社会福祉施設、学校、文化財、警察車両等の復旧支援
- ・ TEC-FORCE、MAFF-SAT等による人的・技術的支援 等

2. 今後の豪雨に備える対策

「令和8年8月千葉豪雨等を踏まえた内水氾濫対策検討会」を開催し、関係省庁が連携して、内水氾濫時の避難のあり方、情報発信のあり方、都市型水害の被害軽減対策、アンダーパスへの進入対策などを検討

令和8年8月千葉豪雨等を踏まえた内水氾濫対策検討会

○ 概要

- ・ 令和8年8月千葉豪雨では、千葉県内の22市町にレベル5大雨特別警報が発表され、13名の死者が生じるなど、内水氾濫等により甚大な被害が生じたところ。
- ・ 高市総理大臣からあかま防災担当大臣に対し、防災・災害対応の司令塔機能を担う「防災庁」の設置も視野に入れながら、来年の「出水期」も見据え、関係省庁と連携の上、「検討会」を立ち上げ、「実効性のある対策」を早急にとりまとめるよう指示があったところ。
- ・ 当該指示を踏まえ、内閣府防災において、関係省庁連携の下、内水氾濫により顕在化した課題への対応策を検討するための検討会を開催する。

○ 検討項目

- ・ 内水氾濫時の避難のあり方
- ・ 情報発信のあり方
- ・ 被害軽減に向けた取り組み など

○ スケジュール

- ・ 第1回 9月11日(金)14:00-16:00
被害概要と課題の整理
- ・ 第2回 10月頃
現地視察、課題の整理
- ・ 以降、数回の議論を実施し、冬頃とりまとめ予定

○ 委員名簿(五十音順、敬称略) ※「○」は 座長

牛山 素行	静岡大学防災総合センター 教授
阪本 真由美	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授
定池 祐季	東北学院大学地域総合学部政策デザイン学科 准教授
出世 ゆかり	国立研究開発法人防災科学技術研究所 極端気象災害研究領域 水・土砂防災研究部門 主任研究員
関根 正人	早稲田大学理工学術院 教授
関谷 直也	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター長・教授
平林 由希子	芝浦工業大学工学部土木工学科 教授
廣井 悠	東京大学先端科学技術研究センター 教授
福島 隆史	一般社団法人日本民間放送連盟報道委員会災害情報専門部会 幹事 TBSテレビ創域報道本部報道局 解説委員

○ 矢守 克也 京都大学防災研究所巨大災害研究センター 教授

(特別委員)

田中 淳 東京大学大学院情報学環 名誉教授

(関係地方公共団体)

千葉県、千葉市

(関係省庁)

内閣府政策統括官(防災担当)、警察庁、消防庁、
厚生労働省、農林水産省、国土交通省、気象庁